



大規模土砂災害へ学術的アプローチ！ ～センター構成員で新たなビジョンについて議論しました～

～大規模土砂災害対策技術センター（河川計画課・近畿技術事務所・紀伊山系砂防事務所）～

大規模土砂災害対策技術センターは、紀伊半島大水害を契機として大規模土砂災害に対応するための研究・開発、土砂災害対策に関わる人材の育成等を目的とし、近畿地方整備局が設立した組織であり、和歌山県那智勝浦町を拠点として活動しています。

今回、センター構成員となっている担当職員が一同に会する令和5年度第1回大規模土砂災害対策技術センター担当者会議を令和5年6月15日(木)に実施し、取り組み内容を共有し現場を見ながら**今後業務への実装のため**目指すべき目標とその目標を達成するための取り組みについて議論しました。

現状の課題や今後必要となる技術について議論



大規模土砂災害の現在の復旧状況



清水
地区

After

Before



現場で実装されている技術の例



人間が立ち入ることができない危険な作業現場の多い砂防工事現場を支援するため、遠隔操作が可能な建設機械の導入など、最先端の技術が活用されています。



赤谷
地区

After

Before



今後もセンター構成員一同、連携して取り組んでいきます！センターについて、詳しくはこちら



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 大規模土砂災害対策技術センター
〒649-5302 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町市野々3027-6 TEL : 0735-55-0820

